

みんなの活動だより

発行: MISHOP広報部会

2023.4
76

3年ぶりの国際交流スキーツアー

The International Ski Tour 2023

「国際交流スキーツアー 2023」が3月11日(土)~12日(日)の1泊2日、長野県佐久郡川上村のシャトレゼスキーバレー野辺山で開かれました。スキーツアーは3年ぶりの実施で、ベトナムなど外国籍市民11人を含む25人が久しぶりの白銀の世界を楽しみました。

参加したのはベトナム、台湾、米国、メキシコ、ロシア出身者と日本人ボランティア14人。青空のもと、正面に八ヶ岳連峰を望むグレンデで、初心者の方の外国籍市民も滑ったり、転んだりしながら歓声を挙げていました。

宿泊したのは三鷹市校外学習施設の川上郷自然の村。夕食後は交流会を開き、ゲームやクイズで盛り上がりました。

The International Ski Tour 2023 was held from March 11th (Sat) to 12th (Sun) at a ski resort in Kawakami Village, Nagano Prefecture. This was the first ski tour after three years, and 25 people, including 11 foreign citizens, enjoyed the silver snow after this long break.

【感想シートから】 Comments from the impression seat
外国籍市民 foreigner participants(原文のまま)

●Thanks MISHOP for the warm and friendly ski tour. I was taught how to ski. I was fun and with the great care of MISHOP's members. I learnt skiing without any injuries. I don't have any opinions, you did a great job. Thank you. (ベトナム)

- 今週末はとても楽しかったです。いつもお世話になっていて、ありがとうございます! 次のスキーツアーが楽しみです。ぜひ行きたいです。(メキシコ)
- とても楽しかったです! 全員をグループに分けるのは良いかんがえでした。初心者はずぐにじょうずにすべれるようになります。ありがとうございます! (ロシア)



日本人ボランティア Japanese volunteer

- 参加者全員が協力的で何かひとつの「チーム」になった気がしました。スキーの腕前もメキメキあがり、普通にすべれるようになって本当にスゴイ。開催時期は次回また2月に戻るといって良かったと思いますが、やはり3月だと雪質がいまひとつなので、コンディションが良い2月がベストでしょう。お疲れさまでした。

- 今回は楽しい企画に参加させていただきまして、どうもありがとうございました。久しぶりのスキーでしたがケガもなく、後半は存分に滑れて楽しかったです。ありがとうございました。



- 素敵なツアーをありがとうございました。ボランティアとして参加しましたが、純粋にツアーを楽しむことができ、大変良かったです。内容もたっぷり詰まっていたので、大満足でした。通訳の腕を磨き、また参加したいです。ありがとうございました。お疲れさまでした!



ウクライナの会場はパフォーマンスやワークショップを楽しむ市民の笑顔にあふれていました。それが一瞬、静まり返ったのは、ウクライナ歌手4人が故郷を思っ民謡「キーウ」を歌った時でした。ウクライナでは1年以上、爆撃や戦闘が続いています。三鷹市に避難している人たちもこれほど避難が続くとは思わず、不安を抱いている人もいと聞きます。私たちにできることは、これからもウクライナのことを忘れず、寄り添っていくことだと思います。

「ウクライナデー」に3000人が来場

三鷹市内にはウクライナから戦禍を逃れた避難者が現在21世帯32人住んでいます。MISHOPでは2022年度、三鷹市や三鷹青年会議所などと共催で「ウクライナ特別企画事業」を連続開催してきました。3月5日（日）11～15時にはNPO法人日本ウクライナ友好協会KRAIANYと杏林学園の協力を得て、ウクライナの文化を体感する「ウクライナデー」を杏林大学三鷹キャンパス松田進勇記念アリーナで開催しました。市民ら約3000人が訪れ、ウクライナの民族舞踊や民謡、民芸品、料理などに触れ、交流を深めました。

水色と黄色のウクライナの国旗の色に染まった会場には、ウクライナの各地方を紹介するパネルコーナーのほか、卵の殻に模様を描く「フィーサンカ」と、お守り「モタンカ人形」を手作りするワークショップコーナーが設けられ、親子連れなどでにぎわいました。行列ができたのは伝統料理「ボルシチ」とチーズ入り揚げドーナツ「ポンチキ」を販売するコーナー。人形や織物、はちみつなどの物産を販売するコーナーにも人だかりができました。

大勢の観客を魅了したのが舞台上で繰り広げられた歌と踊りです。MISHOP理事長の松田剛明・杏林大学理事長と河村孝・三鷹市長の挨拶に続いて、華やかな民族衣装をまとった踊り手たちが民族舞踊や民謡を次々と披露し、観客たちは大きな拍手を送っていました。最後にウクライナ人の指導で希望者がダンスを輪になって踊りました。

実行委員長の入月裕樹さんは「クラヤマイから市内でウクライナ文化を紹介するイベントを開催したいという話を聞き、交流の機会になると企画しました。たくさんの方に体験していただいて良かったです」と話していました。

MISHOPではウクライナからの避難者を地域で受け入れるために、ウクライナのことを知ろうと、昨年5月からウクライナ特別企画事業としてコンサートやウクライナ理解講座などを開催してきました。引き続き1月14日からは「ことばと文化講座～ウクライナ～」(全10回)を開講したほか、2月18日には「国際理解講座～ウクライナ～ロシアのウクライナ侵攻と歴史観」を、21日には「ウクライナ映画上映会『火の馬』」を開催し、大勢の市民が参加しました。

There are 32 evacuees from Ukraine living in Mitaka City. Since 2022, MISHOP has been co-sponsoring a series of special Ukrainian projects with Mitaka City and others. On March 5th (Sunday), with the cooperation of the Japan-Ukraine Friendship Association KRAIANY and Kyorin Gakuen, a "Ukraine Day" was held from 11 am to 3 pm at the Kyorin University Mitaka Campus Arena for introducing Ukrainian culture. Approximately 3,000 people, including citizens, visited the event and experienced Ukrainian folk dances, folk songs, folk crafts, and cuisine.

